

「平成23年度東久留米市事務事業見直しのための仕分け」 委員意見・提言

番号	B-2	担当課	子育て支援課
事務事業名	学童保育所運営事業		

判 定 区 分													
(仕分け市民委員数はA班4名、B班3名)													
1	不要	2	民間	3	国	4	東京都	5	他市町村との広域連携	6	東久留米市(改善有)	7	東久留米市(現行通り)
0名		0名		0名		0名		0名		3名		0名	

仕 分 け 委 員 意 見 ・ 提 言

委員・・・6東久留米市（改善有）⑦その他

○新1年生の保育時間、夏休みの保育時間、入所対象学年等の課題を行政は認識しているが、ずっと変わってきていないのは市職員だけでなく市長・市議会議員の問題でもある。東久留米市が一体になって見直すべきではないか。
○家計が苦しいから共働きしている家庭もある。出来れば保護者負担は現行どおりを望む。
○30分200円で延長出来る自治体もある。有償・お迎えを条件にしても延長を求める保護者はいると思うので、他の事業を削ってでも19時までの延長保育と入所対象学年の拡大を進めるべき、と東久留米市の保護者として願う。

委員・・・6東久留米市（改善有）③自主財源確保の努力⑦その他

○「税負担の公平性」の見地から受益者負担の強化、拡充は行うべきと感じた。保護者の所得に応じて値上げを行うなど、保育料の設定を抜本的に見直してはどうか。
○資格がなくても意欲、経験のある人は沢山いると思う。応募資格を見直してほしい。

委員・・・6東久留米市（改善有）⑦その他

○延長保育に関しては出来る限り対応すべきだが、一定の保護者負担は避けられないのではないかと。
○保育内容については運動時間等も含めて改善する余地がある。

担 当 課 の 考 え 方

・保護者からの要望である利用時間（保育時間）の延長については、労働条件等の見直しが必要と考えていることから、早急な改善は難しいこと、また、保育園と違いお迎え制度がなく、冬場など暗い時間の帰宅となるため、児童の安全確保が図れるか等の問題があります。また、それに伴う嘱託員の増員や人件費の増額が見込まれることから、利用者負担である学童保育所費（使用料）も含め総体的に考えていきたい。
・障害児童の学年延長については、各市の状況等を調査し、職員体制や実情を踏まえ、4年生までの受け入れを考えていきたい。
・土曜日や長期休暇（夏休みなど）については、児童の登所時の安全や学校管理などを考慮して現在の8時30分開所の開所時間を8時15分にするなどの改善を考えていきたい。
・入所の対象学年の延長については、1年生と4年5年生との体力差などがあることから、集団保育を考えていく上での安全管理などの問題があるため慎重に考えなければいけない課題と認識しています。